

令和5年度大学・附属学校園連携事業推進経費 成果報告書

<p><b>所属名</b></p>	<p>附属天王寺小学校・総合教育系</p>
<p><b>研究課題名</b></p>	<p>働きやすく学びの深まる学校づくりプロジェクト 第2期へ</p>
<p><b>研究課題概要</b></p>	<p>近年「チーム学校」「働き方改革」「カリキュラム・マネジメント」「教科等横断的」等、新しい教育用語があふれ、学校変革への社会的要求が強まっている。対して学校現場では、「外国語教育」「キャリア教育」「ICT教育」等、新しい指導内容が増加してきた流れの中で、多忙感を感じるが増えてきており、改革への抵抗感が強まっていることは否めない。</p> <p>しかしながら、コンピテンシーベースのカリキュラムの転換が図られている今、これまでの学校文化を見直し、改善、発展、変革していくことは必要不可欠である。</p> <p>また、今では、多くの学校で「スクールサポーター」や「学生ボランティア」等、多様な職員が学校運営の一端を担っている。そのため、教員以外の育成も視野にいれなければ、せっかくの人材を有効活用できないことになっていしまう。</p> <p>以上のことから、学校改革を行うにあたっては、子どもたちの「学び」「成長」だけでなく、私たち教職員自身の「働き方」「学び方」にも焦点をあてる必要があると考えた。そこで、本研究では、現場の多忙感・抵抗感も考慮しながら、「子どもたち」のためだけでなく「教職員」のワーク・エンゲージメントにも注目しながら、学びを深めることができる学校づくりをめざしていくための具体的方策を計画・実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 業務の効率化・業務分担の見直し</li> <li>2. 保護者との連携強化</li> <li>3. キャリアに合わせた研究</li> <li>4. 学校教育目標の実現</li> </ol>
<p><b>研究課題の構成員 (リーダーに※)</b></p>	<p>國光 妙子(以下附属天王寺小学校)※ 森 保 田村 知子(以下総合教育系) 陸奥田 維彦</p>